

6 履修モデル表

法務研究科履修モデル（国内法務コース3年修了者の場合）

区分	科目群	1年次	2年次	3年次	修得単位	
I 法律基本科目群	入門科目	▲行政法入門 ▲刑事手続法入門	▲民事手続法入門 2	▲から1科目選択		
	公法系科目	統治の基本構造②	基本的人権の基礎② 法と行政活動②	行政経済法②	公法演習Ⅰ② 公法演習Ⅱ②	
	民事法系科目	民法Ⅰ(総則・物権法)④	民法Ⅱ(債権法総論)②	商法演習②	民法演習Ⅱ②	民事法総合演習Ⅱ② 民事法総合演習Ⅰ②
		民法Ⅳ(債権法各論)④	民法Ⅲ(担保物権法)②	民事手続法④	民法演習Ⅲ②	
			民法Ⅴ(家族法)②		民事手続法演習②	
	刑事法系科目	刑法Ⅰ(総論)②	刑法Ⅱ(各論)④	刑事手続法④		刑事法総合演習Ⅰ② 刑事法総合演習Ⅱ②
			刑事法演習②			
単位(Ⅰ)		32	22	10	64	
II 法律実務基礎科目群	法の理論と実務②			民事訴訟実務の基礎②	民事模擬裁判② 弁護士実務②	
	法曹倫理②			刑事訴訟実務の基礎②	刑事模擬裁判②	
					刑事実務演習②	
単位(Ⅱ)		4	4	4	12	
III 基礎法学・隣接科目群	★法哲学②	●法律英語②				
	★法社会学②	■国際社会と法②	■から1科目選択			
	★法制史②	■キリスト教倫理②	2		4	
	●外国法②	☆法と経済学②				
		☆行政学②				
		政治学②				
単位(Ⅲ)		2	2	0	4	
IV 展開・先端科目群			◆地方自治法②	◎国際紛争解決法②	◆税法②	
			◇土地私法②	◎国際環境法②	◆環境法②	
			◇金融法②	◎国際人権法②	◇労働法演習②	
			◇知的財産法②	◎国際組織法②		
			◇労働法②	◎国際経済法②		
			◇執行・保全法②	△消費者問題②		
			◇経済法②	△高齢者・障害者問題②		
			◇経済法演習②	▲刑事弁護実務②		
			◎国際私法②			
		◎国際取引法②				
単位(Ⅳ)		0	2	16	18	
単位小計(Ⅲ+Ⅳ)		2	4	16	22	
修得単位		38	30	30	98	

- (注) 1. ○印は、修了必修科目。開講時期(前期・後期)は、変更される場合がある。
 2. [] は [] 中の科目から必要単位数を選択履修する。
 3. 履修科目登録上限は1年につき36単位であるが、標準修業年限3年修了者の場合、1年次の履修科目登録上限は38単位、修了年次の履修科目登録上限は44単位である。
 4. この表に掲載されている科目の他、他大学が開講した連携科目を履修した場合に本学の展開・先端科目の単位として認定できる。
 5. 「弁護士実務」は必修ではないが、選択することが望ましい。

法務研究科履修モデル（刑事弁護コース3年修了者の場合）

区分	科目群	1 年 次	2 年 次	3 年 次	修得単位		
I 法律基本科目群	入 門 科 目	▲行政法入門 ▲刑事手続法入門	▲民事手続法入門 2	▲から1科目選択			
	公法系科目	統治の基本構造②	基本的人権の基礎②	法と行政活動② 行政救済法②	公法演習 I ② 公法演習 II 2		
	民法法系科目	民法 I (総則・物権法)④	民法 II (債権法総論)②	民法 III (担保物権法)②	民法 IV (債権法各論)④	民法 V (家族法)②	民法演習 I ② 民法演習 II ②
			民法 III (担保物権法)②	民法 IV (債権法各論)④	民法 V (家族法)②	民法演習 I ②	
			民法 III (担保物権法)②	民法 IV (債権法各論)④	民法 V (家族法)②	民法演習 I ②	
	刑法法系科目	刑法 I (総論)②	刑法 II (各論)④	刑事手続法④ 刑事法演習②	刑事法総合演習 I ② 刑事法総合演習 II ②		
単位 (I)	32	22	10	64			
II 法律実務基礎科目群	法の理論と実務②		民事訴訟実務の基礎② 刑事訴訟実務の基礎②	民事模擬裁判② 刑事模擬裁判② 刑事実務演習 2	弁護士実務 2		
	法曹倫理②						
単位 (II)	4	4	4	12			
III 基礎法学・隣接科目群	★法哲学 2	★法律英語 2					
	法社会学 2	■国際社会と法 2	■から1科目選択				
	法制史 2	■キリスト教倫理 2	2		4	★、■から2科目選択	
	外国法 2	法と経済学 2					
		行政学 2 政治学 2					
単位 (III)	2	2	0	4			
IV 展開・先端科目群			地方自治法 2 ☆土地私法 2 ☆金融法 2 知的財産法 2 ☆労働法 2 ☆執行・保全法 2 経済法 2 経済法演習 2 国際私法 2 ☆刑事弁護実務 2	国際紛争解決法 2 ☆国際環境法 2 ☆国際人権法 2 国際組織法 2 国際経済法 2 消費者問題 2 高齢者・障害者問題 2 国際取引法 2	☆税法 2 環境法 2 ☆労働法演習 2 22 ☆から9科目選択		
	単位 (IV)	0	2	16	18		
	単位小計 (III+IV)	2	4	16	22		
	修得単位	38	30	30	98		

- (注) 1. ○印は、修了必修科目。開講時期（前期・後期）は、変更される場合がある。
 2. □印は □印の中の科目から必要単位数を選択履修する。
 3. 履修科目登録上限は1年につき36単位であるが、標準修業年限3年修了者の場合、1年次の履修科目登録上限は38単位、修了年次の履修科目登録上限は44単位である。
 4. この表に掲載されている科目の他、他大学が開講した連携科目を履修した場合に本学の展開・先端科目の単位として認定できる。
 5. 「弁護士実務」は必修ではないが、選択することが望ましい。

法務研究科履修モデル（国内法務コース2年修了者の場合）

区分	科目群	1 年 次		2 年 次		修得単位
I 法律基本科目群	公法系科目	法と行政活動 ②	行政救済法 ②	公法演習Ⅰ ②	公法演習Ⅱ 2	
	民法法系科目	商法演習 ②	民法演習Ⅱ ②	民法法総合演習Ⅱ ②	民法法総合演習Ⅰ ②	
		民事手続法 ④	民法演習Ⅲ ②			
			民事手続法演習 ②			
	刑事法系科目	刑事手続法 ④		刑事法総合演習Ⅰ ②	刑事法総合演習Ⅱ ②	
刑事法演習 ②						
単位 (I)	22		10		32	
II 法律実務基礎科目群	法の理論と実務 2	民事訴訟実務の基礎 ②	民事模擬裁判 ②			
	法曹倫理 ②	刑事訴訟実務の基礎 ②	刑事模擬裁判 ②			
	△エクスターンシップ 1		△刑事実務演習 2	△から2単位以上選択必修		
			△弁護士実務 2	2		
単位 (II)	6		6		12	
III 基礎法学・隣接科目群	★法哲学 2	●法律英語 2				★、●、■、☆から2科目選択
	★法社会学 2	■国際社会と法 2	■から1科目選択			
	★法制史 2	■キリスト教倫理 2	2	4		
	●外国法 2	☆法と経済学 2				
		☆行政学 2				
		☆政治学 2				
単位 (III)	2		2		4	
IV 展開・先端科目群	◆地方自治法 2	◎国際紛争解決法 2	◆税法 2			◆から1科目、◇から4科目、▲から1科目、△から1科目、◎から2科目選択
	◇土地私法 2	◎国際環境法 2	◆環境法 2			
	◇金融法 2	◎国際人権法 2	◇労働法演習 2			
	◇知的財産法 2	◎国際組織法 2				
	◇労働法 2	◎国際経済法 2			22	
	◇執行・保全法 2	△消費者問題 2				
	◇経済法 2	△高齢者・障害者問題 2				
	◇経済法演習 2	▲刑事弁護実務 2				
	◎国際私法 2					
	◎国際取引法 2					
単位 (IV)	2		16		18	
単位小計 (III+IV)	4		18		22	
修得単位	32		34		66	

(注) 1. ○印は、修了必修科目。開講時期（前期・後期）は、変更される場合がある。

2. [] は [] 中の科目から必要単位数を選択履修する。

3. 履修科目登録上限は1年につき36単位であるが、修了年次の履修科目登録上限は44単位である。

法務研究科履修モデル（企業法務コース3年修了者の場合）

区分	科目群	1 年 次		2 年 次		3 年 次		修得単位	
I 法律基本科目群	入門科目	▲行政法入門 ▲刑事手続法入門	▲民事手続法入門	▲から1科目選択					
	公法系科目	統治の基本構造②	基本的人権の基礎②	法と行政活動②	行政救済法②	公法演習Ⅰ②	公法演習Ⅱ②		
	民事法系科目	民法Ⅰ (総則・物権法)④	民法Ⅱ (債権法総論)②	民法Ⅲ (担保物権法)②	民法Ⅳ (債権法各論)④	民法Ⅴ(家族法)②	民法Ⅵ (債権法各論)④	民法Ⅶ (担保物権法)②	民法Ⅷ(家族法)②
		民法Ⅷ (債権法各論)④	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②
		民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②	民法Ⅷ (担保物権法)②
	刑事法系科目	刑法Ⅰ(総論)②	刑法Ⅱ(各論)④	刑事手続法④		刑事法総合演習Ⅰ②	刑事法総合演習Ⅱ②		
単位(Ⅰ)	32		22		10		64		
II 法律実務基礎科目群	法の理論と実務②			民事訴訟実務の基礎②	民事模擬裁判②	弁護士実務②			
	法曹倫理②			刑事訴訟実務の基礎②	刑事模擬裁判②				
					刑事実務演習②				
単位(Ⅱ)	4		4		4		12		
III 基礎法学・隣接科目群	法哲学②	★法律英語②							
	法社会学②	■国際社会と法②	■から1科目選択						
	法制史②	■キリスト教倫理②	2			4	★、■から2科目選択		
	★外国法②	法と経済学②							
		行政学②							
		政治学②							
単位(Ⅲ)	2		2		0		4		
IV 展開・先端科目群				地方自治法②	国際紛争解決法②	▲税法②			
				▲土地私法②	△国際環境法②	環境法②			
				▲金融法②	△国際人権法②	▲労働法演習②			
				▲知的財産法②	国際組織法②		▲から6科目、△から3科目選択		
				▲労働法②	国際経済法②		22		
				▲執行・保全法②	▲消費者問題②				
				経済法②	高齢者・障害者問題②				
				経済法演習②	刑事弁護実務②				
				△国際私法②					
			△国際取引法②						
単位(Ⅳ)	0		4		14		18		
単位小計(Ⅲ+Ⅳ)	2		6		14		22		
修得単位	38		32		28		98		

- (注) 1. ○印は、修了必修科目。開講時期（前期・後期）は、変更される場合ありうる。
 2. □印は □印の中の科目から必要単位数を選択履修する。
 3. 履修科目登録上限は1年につき36単位であるが、標準修業年限3年修了者の場合、1年次の履修科目登録上限は38単位、修了年次の履修科目登録上限は44単位である。
 4. この表に掲載されている科目の他、他大学が開講した連携科目を履修した場合に本学の展開・先端科目の単位として認定できる。
 5. 「弁護士実務」は必修ではないが、選択することが望ましい。

法務研究科履修モデル（国際法務コース3年修了者の場合）

区分	科目群	1 年 次		2 年 次		3 年 次		修得単位
I 法律基本科目群	入門科目	▲行政法入門	▲民事手続法入門	▲から1科目選択				
		▲刑事手続法入門		2				
	公法系科目	統治の基本構造②	基本的人権の基礎②	法と行政活動②	行政救済法②	公法演習Ⅰ②	公法演習Ⅱ②	
	民法法系科目	民法Ⅰ(総則・物権法)④	民法Ⅱ(債権法総論)②	商法演習②	民法演習Ⅱ②	民法法総合演習Ⅱ②	民法法総合演習Ⅰ②	
		民法Ⅳ(債権法各論)④	民法Ⅲ(担保物権法)②	民事手続法④	民法演習Ⅲ②			
			民法Ⅴ(家族法)②		民事手続法演習②			
	刑事法系科目		商法Ⅰ④		商法Ⅱ②			
		民法演習Ⅰ②						
単位(Ⅰ)	32		22		10		64	
II 法律実務基礎科目群	法の理論と実務②			民事訴訟実務の基礎②	民事模擬裁判②	弁護士実務②		
	法曹倫理②			刑事訴訟実務の基礎②	刑事模擬裁判②			
					刑事実務演習②			
単位(Ⅱ)	4		4		4		12	
III 基礎法学・隣接科目群	法哲学②	★法律英語②						
	法社会学②	■国際社会と法②	■から1科目選択					
	法制史②	■キリスト教倫理②	2			4	★、■から2科目選択	
	★外国法②	法と経済学②						
		行政学②						
		政治学②						
単位(Ⅲ)	2		2		0		4	
IV 展開・先端科目群			地方自治法②	国際紛争解決法②	▲税法②			
			土地私法②	国際環境法②	環境法②			
			▲金融法②	△国際人権法②	▲労働法演習②			
			▲知的財産法②	国際組織法②				
			▲労働法②	国際経済法②		22	▲から6科目、△から3科目、選択	
			▲執行・保全法②	▲消費者問題②				
			経済法②	高齢者・障害者問題②				
			経済法演習②	刑事弁護実務②				
			△国際私法②					
		△国際取引法②						
単位(Ⅳ)	0		4		14		18	
単位小計(Ⅲ+Ⅳ)	2		6		14		22	
修得単位	38		32		28		98	

(注) 1. ○印は、修了必修科目。開講時期（前期・後期）は、変更される場合がある。

2. □印は、□印の中の科目から必要単位数を選択履修する。

3. 履修科目登録上限は1年につき36単位であるが、標準修業年限3年修了者の場合、1年次の履修科目登録上限は38単位、修了年次の履修科目登録上限は44単位である。

4. この表に掲載されている科目の他、他大学が開講した連携科目を履修した場合に本学の展開・先端科目の単位として認定できる。

5. 「弁護士実務」は必修ではないが、選択することが望ましい。